



ブックワールド

令和元年 5月号 図書館通信第232号
兵庫県立三田西陵高等学校

《新しい本の紹介》

2019年本屋大賞を受賞した本が10冊入りました。
学校図書館で人気作家の作品に触れてみませんか。

一般の図書館では予約が多く、なかなか借りられません。
ぜひ学校図書館で読んでみてください。
・2週間、5冊まで借りられます。

「クラス別 本の貸出数」
学期ごとに、表彰します。



「いつかすべてが君の力になる」
梶裕貴 著



以下は作者から読者へのメッセージです。
僕の職業は『声優』です。僕が「声優になろう」と心に決めたのは14歳の時でした。「夢を持つこと」、それによって「人生の見方が変わる」ということを知っていたら幸いです。

不遇の時代を乗り越え挑戦し続けたこと、夢をかなえたこと、常にベストな環境で演じられるよう自分自身をプロデュースすること、仕事に必要な「切り替える力」と「瞬発力」などが丁寧に描かれています。

書名	著者名	出版社	内容
手紙屋	喜多川泰	デイスカパーコ	大学生の西山諒太は「手紙屋」と10通の手紙のやりとりをする。就職活動をして手紙を書くという生活の中で働く意味について考える。
手紙屋 蛍雪編	喜多川泰	デイスカパーコ	「手紙屋」から届いた「未来を拓くための10の教え」について。今できることは何なのか。10代の心に響く感動の自己啓発小説。
10代に伝えたい名言集	定政敬子	大和書房	学校、家族という社会の中で生きている子どもたちにそっと寄り添って、悩みを分かち合うための言葉を集めた本。
10代に語る平成史	後藤謙次	岩波書店	平成とはどのような時代であったのか。政治ジャーナリストによる臨場感あふれる現代史入門。
エコノミックス	M. ゲッドウイン	みすず書房	資本主義の誕生から金融危機まで、世界の経済350年が一目瞭然。世界17か国でロングセラー。
今、世界はあぶないのか？ 全4冊	スピルズベリー	評論社	世界中で起きている問題について考えてみよう。1 争いと戦争 2 難民と移民 3 貧困と飢餓 4 差別と偏見
いつかすべてが君の力になる	梶裕貴	河出書房新社	実力派声優が、苦労した下積み時代や仕事への熱い思いを語った一冊。夢を追いかける、決してあきらめない人生とは・・・
そしてバトンは渡された	瀬尾まいこ	文藝春秋	2019年本屋大賞 優子は4回も名字が変わった。「私に父親は3人。母親は2人いる。」この著者にしか描けない優しい物語。
ひと	小野寺史宜	祥伝社	2019年本屋大賞 第2位 両親を亡くし、大学をやめた20歳の秋。未来に光が射したのは1つのコロッケを譲った時だった。
ベルリンは晴れているか	深緑野分	筑摩書房	2019年本屋大賞 第3位 戦勝国による侵略、敗戦。孤独な少女の旅路の果てに明かされる真実とは・・・
熱帯	森見登美彦	文藝春秋	2019年本屋大賞 第4位 「汝にかかわりなきことを語るなかれ・・・」。「沈黙読書会」でこの本の秘密を知る女性と出会う。
ある男	平野敬一郎	文藝春秋	2019年本屋大賞 第5位 人はなぜ人を愛するのか。人間の存在の根源と世界の真実に触れる文学作品。
さざなみの夜	木皿泉	河出書房新社	2019年本屋大賞 第6位 死という悲しい出来事から始まる物語だが勇気づけられる不思議な一冊。
愛なき世界	三浦しをん	中央公論新社	2019年本屋大賞 第7位 人生のすべてを植物に捧げる木村に、恋の光合成は起こせるのか。道端の草も人間も必死に生きれている。
ひとつむぎの手	知念実希人	新潮社	2019年本屋大賞 第8位 人として大切なものは何か。若き心臓外科医に課された困難なミッション。医療ミステリーの傑作。
火のないところに煙は	芦沢央	新潮社	2019年本屋大賞 第9位 今年度ミステリーランキングの大本命。解けない謎、救えなかった友人、そこから逃げ出した自分。
フーガはユーガ	伊坂幸太郎	実業之日本社	2019年本屋大賞 第10位 仙台市のファミレスで一人の男が語り出す。「僕たちは双子で不運で、でも強い・・・それには秘密がある。」